

試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名： 5月出荷に向けた鉢物トルコギキョウの追肥管理技術			
[要約] 鉢物トルコギキョウ「サファイアシリーズ」3品種を5月に早期出荷する作型では、定植1か月後に窒素約300mg/4.5号鉢、定植2か月後に窒素約300～400mg/4.5号鉢を追肥することで高品質な鉢花が生産できる。			
キーワード	トルコギキョウ、施肥、サファイアシリーズ、鉢花		
実施機関名	主 査 農業総合研究センター・生産技術部・花き緑化研究室 協力機関		
実施期間	2007年度		

[目的及び背景]

本県の主要な鉢花であるシクラメン栽培の後作として有望な品目の選定が求められている。そこで、トルコギキョウの鉢物用品種に着目し、鉢花生産のための技術を開発してきた。ここでは、特に早期出荷に向けて、生育や開花を順調に進めるための施肥管理技術について検討する。

[成果内容]

- 1 「サファイアシリーズ」3品種とも、被覆粒状肥料70日タイプの追肥1回では生育が劣るため、追肥は分施する必要がある（表1）。
- 2 3品種とも2回目の追肥量が多いと着蕾数が多くなる。
- 3 「サファイアブルー」と「サファイアブルーチップ」は、2回目の追肥量が多いと葉色が濃く、「サファイアピンクリム」は、1回目の追肥量が多いと葉色が濃くなる。
- 4 「サファイアブルー」と「サファイアピンクリム」は、追肥量が多いと開花が早く、「サファイアブルーチップ」は、追肥量が少ないと開花が早まる。

以上から、5月出荷の作型では、やや早生タイプである「サファイアブルー」と「サファイアピンクリム」は、1、2回目ともに追肥量は窒素約300mg/4.5号鉢、「サファイアブルーチップ」は、1回目の追肥量は窒素約300mg/4.5号鉢、2回目の追肥量は窒素約400mg/4.5号鉢を施用することで順調に生育・開花する。

[留意事項]

培養土は、赤土：腐葉土：ピートモス：パーライト＝4:3:2:1とし、肥料は、プロミック粒剤（小粒約0.8g、N-P₂O₅-K₂O:12-12-12）を用いた。

[普及対象地域]

県下全域

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表 1 追肥方法及び窒素量の違いが鉢物用トルコギキョウの生育、開花に及ぼす影響

処理区			草丈 (cm)	株張り (cm)	節数	地際部 側枝数	中上位 側枝数	SPAD値	着蕾数	開花日
追肥 1 回目	追肥 2 回目	追肥合計								
サファイアブルーチップ										
緩効性錠剤N192mg ¹⁾	N288mg	N 480mg	31.1	28.7	10.9	5.5	9.9	50.4	121.0	5月25日
緩効性錠剤N288mg	N192mg	N 480mg	31.2	28.6	10.8	5.6	9.8	49.4	124.5	5月25日
	N288mg	N 576mg	32.4	29.2	10.2	6.3	9.3	53.4	117.4	5月27日
	N384mg	N 672mg	31.8	30.5	10.6	6.0	9.4	55.2	130.9	5月26日
緩効性錠剤N384mg	N192mg	N 576mg	30.4	28.1	10.2	6.0	9.1	51.1	115.1	5月27日
	N288mg	N 672mg	30.9	29.8	10.6	6.3	9.5	54.9	122.9	5月26日
被覆粒状肥料70日N600mg	-	N 600mg	27.9	25.4	10.6	5.8	9.4	39.2	82.1	5月29日
被覆粒状肥料70日N1000mg	-	N1000mg	27.8	25.6	10.4	5.7	10.0	43.2	93.9	5月29日
サファイアブルー										
緩効性錠剤N192mg	N 96mg	N 288mg	28.6	25.6	9.4	6.0	9.8	46.3	76.4	5月20日
	N288mg	N 480mg	27.8	26.9	9.2	5.9	8.9	55.3	84.9	5月22日
緩効性錠剤N288mg	N192mg	N 480mg	29.3	26.3	9.6	5.8	9.7	50.4	81.0	5月22日
	N288mg	N 576mg	28.6	27.1	8.9	5.8	9.4	59.0	79.0	5月19日
	N384mg	N 672mg	28.5	29.7	8.6	5.9	8.3	58.4	83.0	5月17日
緩効性錠剤N384mg	N192mg	N 576mg	27.7	28.4	8.8	6.0	8.9	52.7	81.3	5月18日
被覆粒状肥料70日N600mg	-	N 600mg	25.8	23.5	8.5	5.7	8.7	44.1	60.5	5月20日
被覆粒状肥料70日N1000mg	-	N1000mg	27.3	26.7	8.9	5.0	11.7	53.2	75.9	5月23日
サファイアピンクリム										
緩効性錠剤N192mg	N 96mg	N 288mg	27.3	21.9	10.7	4.8	11.2	46.1	79.8	5月27日
	N288mg	N 480mg	29.9	26.1	10.4	5.5	10.3	49.9	126.4	5月23日
緩効性錠剤N288mg	N192mg	N 480mg	29.3	25.8	9.9	5.3	10.3	51.8	108.8	5月23日
	N288mg	N 576mg	28.5	25.6	9.8	5.9	9.6	54.6	110.4	5月20日
	N384mg	N 672mg	28.1	24.3	9.8	5.3	9.8	52.9	116.0	5月20日
緩効性錠剤N384mg	N192mg	N 576mg	28.3	24.7	9.3	5.8	10.2	51.4	114.8	5月19日
被覆粒状肥料70日N600mg	-	N 600mg	25.4	21.4	9.3	4.8	9.9	42.3	80.9	5月16日
被覆粒状肥料70日N1000mg	-	N1000mg	26.8	24.7	9.5	5.3	10.0	47.7	93.3	5月18日

注 1) 播種日:平成18年11月2日、鉢上げ日:平成19年1月18日、鉢サイズ:4.5号
 基肥:マグアンプK中粒(N-P₂O₅-K₂O:6-40-6)を培土1L当たり3g
 追肥:緩効性錠剤・プロミック小粒(0.8g、N-P₂O₅-K₂O:12-12-12)の1鉢当たり窒素量
 1回目は平成19年2月18日、2回目は3月18日に施用
 被覆粒状肥料70日・ハイコントロールL70(N-P₂O₅-K₂O:10-10-10)の1鉢当たり
 窒素量 平成19年2月18日に1回のみ施用
 2) 地際部側枝数:地際から発生している側枝数、中上位側枝数は、それより上位節から
 発生している側枝数

[発表及び関連文献]

平成19年度生産技術部試験成績書(予定)

[その他]